

# 先進的な取組事例15 兵庫県

## ●取り組みの背景と経緯（取り組み経緯のパターン：行政主導型）

ポイント：  
・以前から県内でマイバック持参運動を展開  
・兵庫県廃棄物処理計画（平成19年4月改定）にレジ袋削減の推進を位置づけ  
・平成19年6月8日に「ひょうごレジ袋削減推進会議」を設立

- ・従来、消費者団体や事業者によりマイバッグ持参運動が進められ、兵庫県でもマイ・バッグ・キャンペーンに取り組むなど、普及啓発に取り組んできた。
- ・兵庫県廃棄物処理計画（平成19年4月）では、改正容器包装リサイクル法（平成18年6月）において「容器包装廃棄物（レジ袋）の排出抑制措置」が規定されたことを踏まえ、レジ袋の削減を全県的に推進することとした。
- ・平成19年6月8日に県内の大手量販店・コンビニエンスストア・百貨店などの事業者・消費者団体・行政代表の三者で構成する「ひょうごレジ袋削減推進会議」（事務局：兵庫県）を立ち上げ、効果的なレジ袋削減対策を検討し、三者が連携してレジ袋の削減について全県的な展開を図っていくこととした。

## ●取り組み内容

ポイント：  
・「ひょうごレジ袋削減推進会議」で全県的なレジ袋削減について検討・協議  
・平成20年1月29日に「レジ袋削減推進に係るひょうご活動指針」を策定  
・削減目標を2006年度比で2010年度までに2億3千万枚削減（削減率25%）と設定  
・活動指針に消費者・事業者・県の役割と三者の連携を明記

- ・全体会議を3回、事業者部会を3回、消費者部会を1回開催し、全県的なレジ袋削減対策（削減目標・削減方策等）について検討・協議を行った。
- ・「レジ袋削減推進に係るひょうご活動指針」では、県民・事業者・行政の参画と協働のもと、2006年度に比べて2010年度の兵庫県内のレジ袋使用枚数2億3千万枚削減（削減率25%）を目標とした。
- ・兵庫県連合婦人会、兵庫県消費者団体連絡協議会、神戸市婦人団体協議会及び神戸市消費者協会は、他団体・県民とともに、事業者・行政が実施するレジ袋削減対策に協力し、マイバッグの持参に努める。
- ・生活協同組合コープこうべ、日本チェーンストア協会関西支部、社団法人日本フランチャイズチェーン協会及び兵庫県百貨店協会は、県民の理解を求めながら、レジ袋削減を進めるための積極的な対策を各社で実施する。
- ・兵庫県は、市町・小売団体等と広範に連携し、県民・事業者への積極的な広報活動や環境学習・教育を行い、レジ袋削減についての理解と協力が得られるよう普及啓発に努める。

## ●成功要因

ポイント：  
・消費者団体・事業者・行政代表が一同に会し、レジ袋削減対策を具体的に議論  
・コンビニ、百貨店を含めた幅広い事業者（30事業者・1,968店舗）が参画  
・各事業者のレジ袋使用枚数や削減目標をもとに、達成可能な削減目標を設定  
・事業者が実施するレジ袋削減対策（有料化・エコポイント・声かけ等）を尊重

- ・消費者・事業者・行政が一同に会する全体会議に加えて、消費者部会ではマイバッグ運動の豊富な経験に基づく貴重な意見を賜り、事業者部会では削減目標等を議論するなど、レジ袋削減対策について具体的な議論を重ねた。
- ・コンビニ、百貨店を含めた幅広い事業者（30事業者・1,968店舗）が参画した。

- ・ 各業界が定める自主目標を最低目標とし、それを上回る自社目標がある事業者は、自社目標を最低目標とするなど、消費者・事業者・行政の連携により達成可能な削減目標を設定した。
- ・ 有料化はレジ袋削減の最も効果的な手段であるが、削減方策については有料化のみにこだわることなく、事業者が実施するレジ袋削減対策（エコポイント・声かけ）を尊重した。

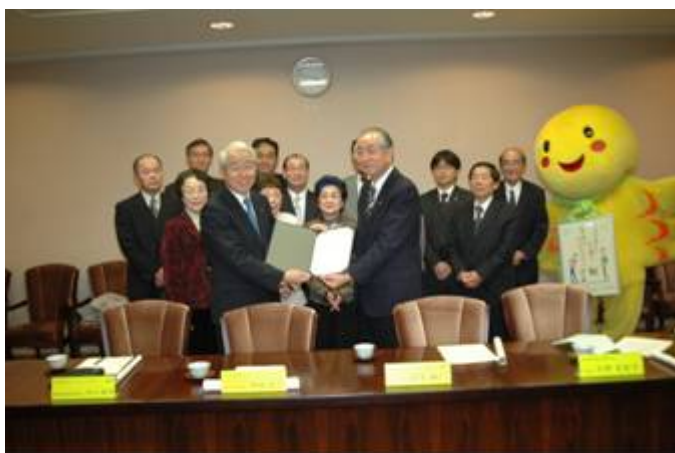
### ●問題点、課題と対策

ポイント：・ 消費者・事業者・市町がレジ袋削減に係る三者協定の締結を促進

- ・ 県民・事業者（小売業者）への普及啓発
- ・ 事業者の取組状況及び削減対策等の把握

- ・ 「兵庫県市町廃棄物処理協議会」を通じ、市町への働きかけを行うことにより、消費者・事業者・市町がレジ袋削減に係る三者協定を締結することを促進する。
- ・ レジ袋削減運動、マイバッグ運動の展開等をテーマに店頭キャンペーン[わが家（わが社）の省資源・省エネキャンペーン]を実施することにより普及啓発を図る。
- ・ 「レジ袋削減推進に係るひょうご活動指針」に定める削減目標の達成に向けて、引き続き会議を開催し、事業者のレジ袋削減枚数等の取組状況を把握する。
- ・ 過剰包装の削減対策について検討する。

### ●取り組みの様子



「レジ袋削減推進に係るひょうご活動指針」報告式(H20.1.29)



普及啓発用ポスター

### ●まとめ

- ・ ひょうごレジ袋削減推進会議を立ち上げ、事業者・消費者・行政の連携によるレジ袋削減対策の検討・協議を進め、2006年度比で2010年度の兵庫県内のレジ袋使用枚数2億3,000万枚削減（削減率25%）を目標とする「レジ袋削減推進に係るひょうご活動指針」を定めた。
- ・ 今後は、指針に基づき、市町と事業者等の間でレジ袋削減に係る協定が締結されることを促進するなど、レジ袋の削減を確実に展開する。

照会先 兵庫県農政環境部環境管理局環境整備課  
〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1  
電話番号 078-362-3280 電子メール [kankyouseibika@pref.hyogo.lg.jp](mailto:kankyouseibika@pref.hyogo.lg.jp)